

【調査】Windows11移行、移行完了はまだ4社に1社 浮かび上がる“人手不足”と外注ニーズ

Windows10のサポート終了が迫る中、移行対応だけでなく日々の“初期設定”にも負担感
44.6%が外部委託に前向き

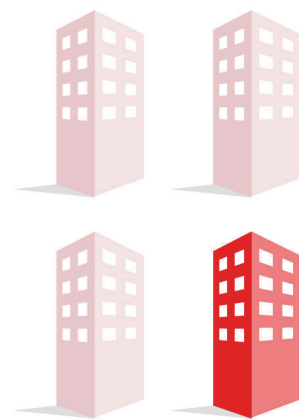
株式会社SSマーケット(本社:東京都八王子市、代表取締役:星山 常進)は、2025年10月に予定されているWindows10のサポート終了を前に、業務用パソコンの管理・調達担当者545名を対象とした調査を実施。Windows11への移行に向けた対応状況が明らかになりました。

SS MARKET

【調査】

Windows11移行、 移行完了はまだ4社に1社

浮かび上がる“人手不足”と外注ニーズ



調査サマリー

◆Windows11への「全社移行済み」と回答した企業は**24.2%**にとどまり、多くの企業が「これから」の段階にあることが判明。

◆移行における主な課題として、「コストや時間の確保」「ソフトの互換性」に加え、「初期設定（キッティング）作業の負担」や「社内人員の不足」といった“作業負荷”や“人手不足”が浮き彫りに。

◆日常業務でも「初期設定・キッティング」に負担を感じている企業が49.4%と最多で、44.6%が外部委託を検討していることから、現場でのアウトソースニーズが高まっていることがうかがえる。

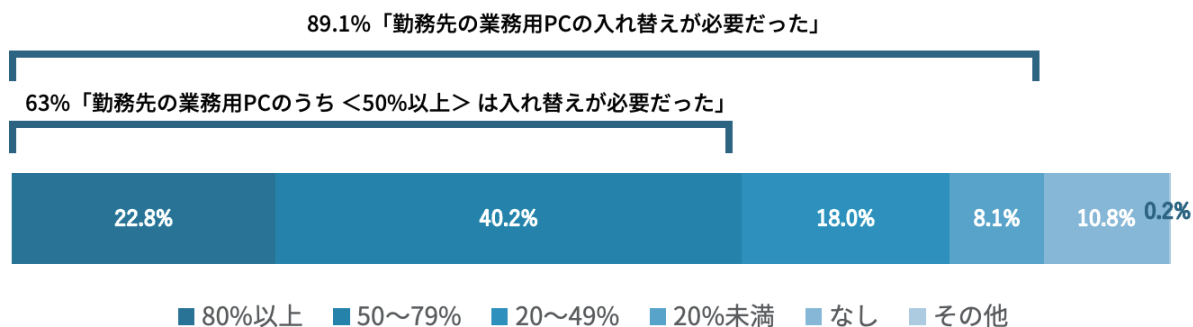
◆PCの調達方法では、購入だけに限らず、レンタルやリースも含めた柔軟な運用を行っている企業が**68%**に達しており、導入スピードや運用負荷の軽減、アフターサポートを重視する傾向が推察される。

調査結果

① 業務パソコンの入れ替えが必要と回答した企業は約9割

89.1%が「勤務先の業務用パソコンの入れ替えが必要だった」と回答。また、63%の方は「勤務先の業務用パソコンのうち、50%以上は入れ替えが必要だった」と回答しました。

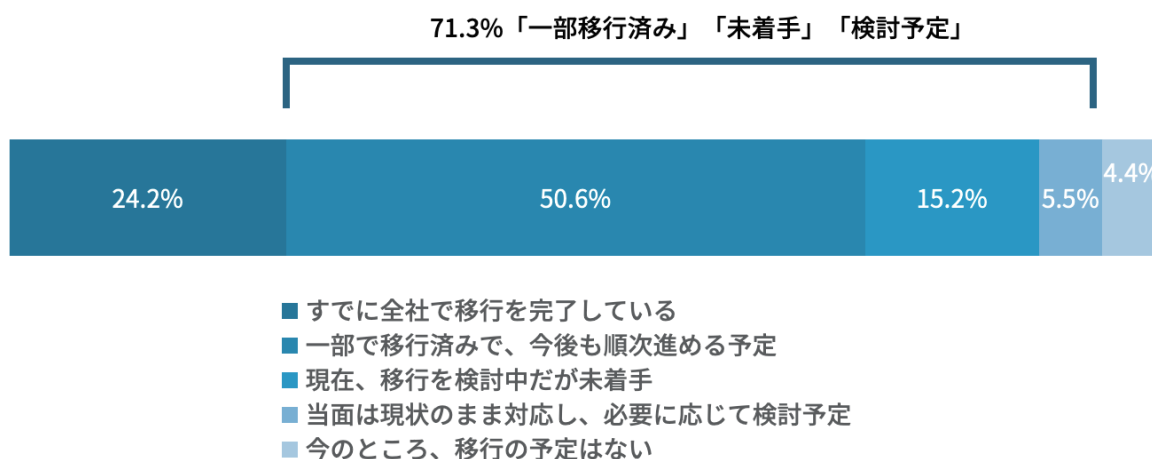
Q Windows10のサポート終了に伴い、勤務先で入れ替えが必要だった（Windows10以前のOSが搭載された）業務用パソコンは、全体の何割程度を占めていましたか？（n=545）



② 移行完了はわずか24.2% 71.3%が“これから”

「全社移行済み」は24.2%にとどまり、「一部移行済み」「未着手」「必要に応じて検討予定」の企業が71.3%を占めました。

Q Windows11への移行対応について、勤務先の組織の方針・進捗状況を教えてください。（n=545）

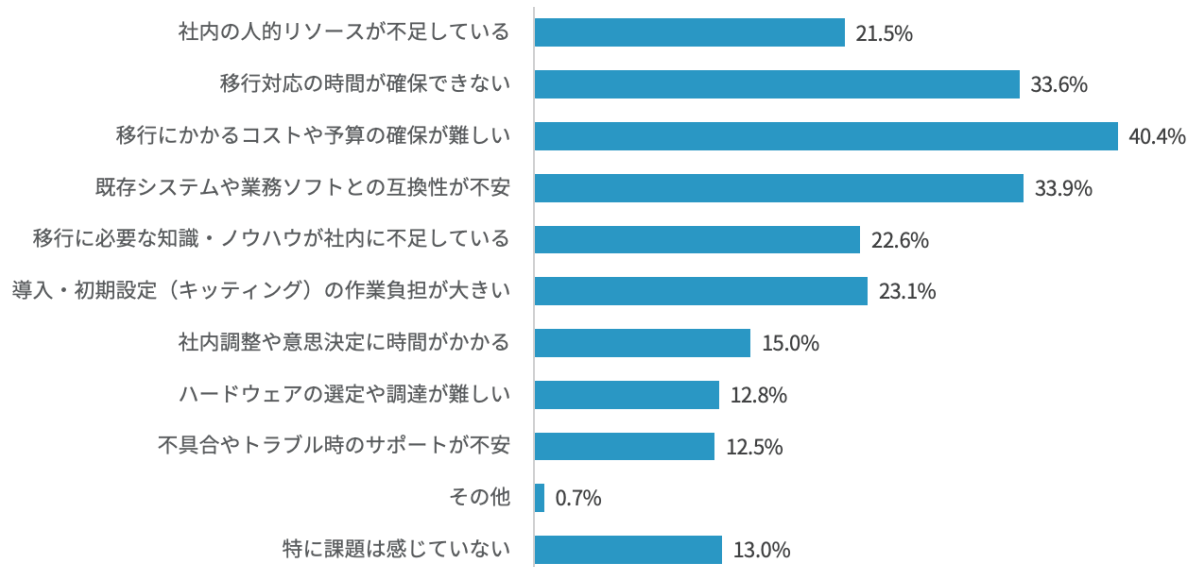


③ Windows11への移行の課題は“予算・互換性・作業時間”

Windows11への移行を進める上では、「移行にかかるコストや予算の確保が難しい（40.4%）」「既存システムや業務ソフトとの互換性が不安（33.9%）」「移行対応の時間が確保できない（33.6%）」などの課題に回答が集中。

また、「導入・初期設定（キッティング）の作業負担が大きい（23.1%）」「移行に必要な知識・ノウハウが社内に不足している（22.6%）」「社内の人的リソースが不足している（21.5%）」も5社に1社にとって課題であることが明らかになりました。（n=545）

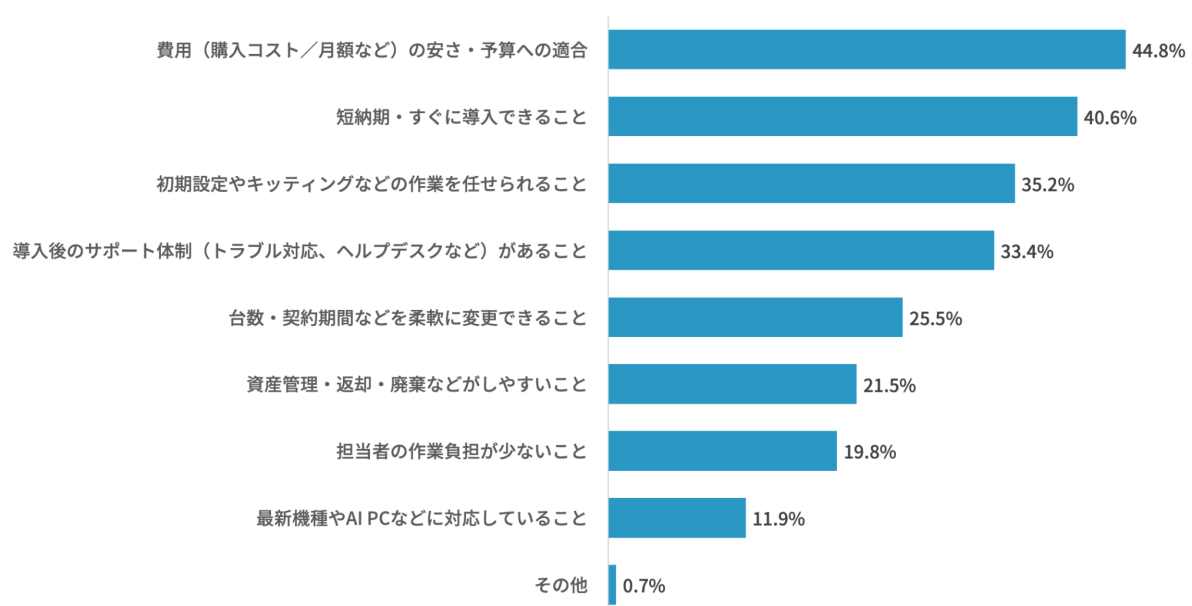
Q Windows11移行を進める上での課題は何ですか？（複数選択可）（n=545）



④ PC調達時のポイントは“予算・納期・初期設定＆導入後のサポート体制”

PC調達時の重視ポイントにおいても、「費用（購入コスト／月額など）の安さ・予算への適合（44.8%）」「短納期・すぐに導入できること（40.6%）」に続き、「初期設定やキッティングなどの作業を任せられること（35.2%）」「導入後のサポート体制（トラブル対応、ヘルプデスクなど）があること（33.4%）」が挙げられるなど、上述の課題感に対応する項目に回答が集まりました。

Q PCを調達する際に重視するポイントを教えてください（複数選択可）（n=545）



⑤ 日々のPC運用でも“初期設定”に負担感。44.6%が“外部に任せたい”と回答

日常的に業務負担を感じるものとして「初期設定・キッティング（OS設定、ソフトインストール、ネットワーク設定など）」に負担を感じると答えた企業は、49.4%と約半数。併せてアウトソーシング希望についても、最多となりました（44.6%）。

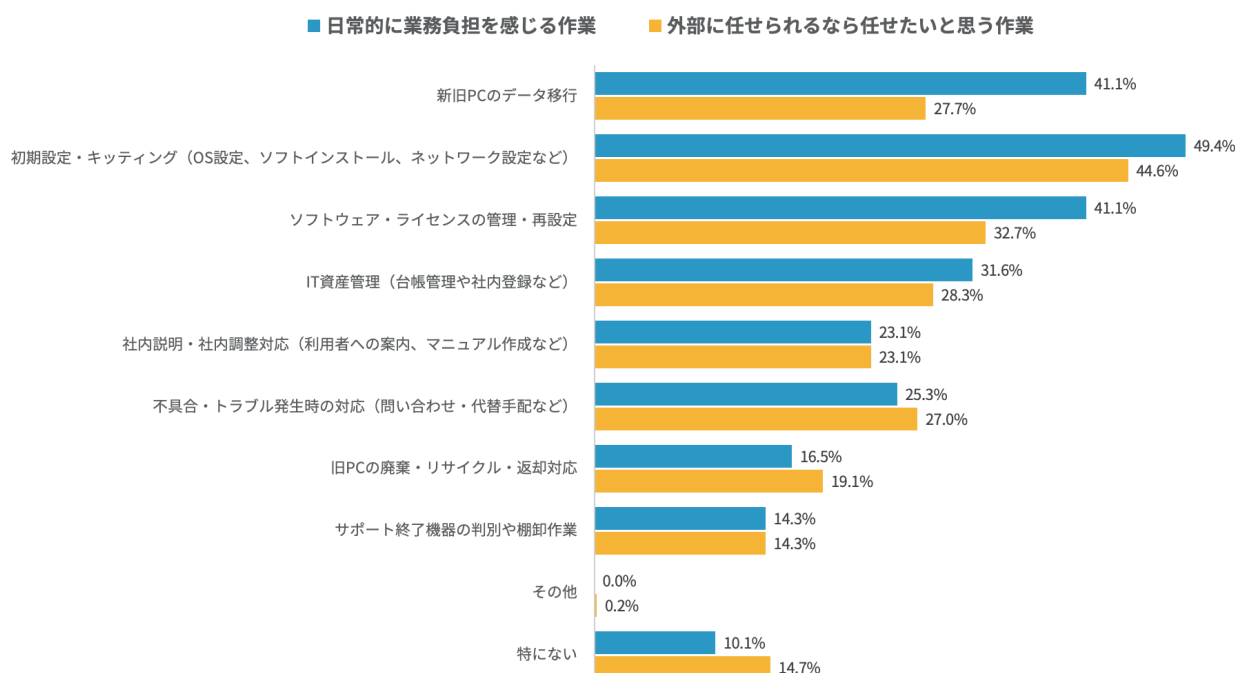
一方で、「新旧PCのデータ移行」については41.1%が負担感を抱えているものの、外注意向は27.7%に留まるなど、作業によって方針を切り分けていることが、うかがえます。（n=545）

Q Windows11移行の有無にかかわらず、PCの入れ替えや運用管理において

①日常的に業務負担を感じる作業はありますか？（複数選択可）

※通常業務として継続的に発生する作業についてお答えください。

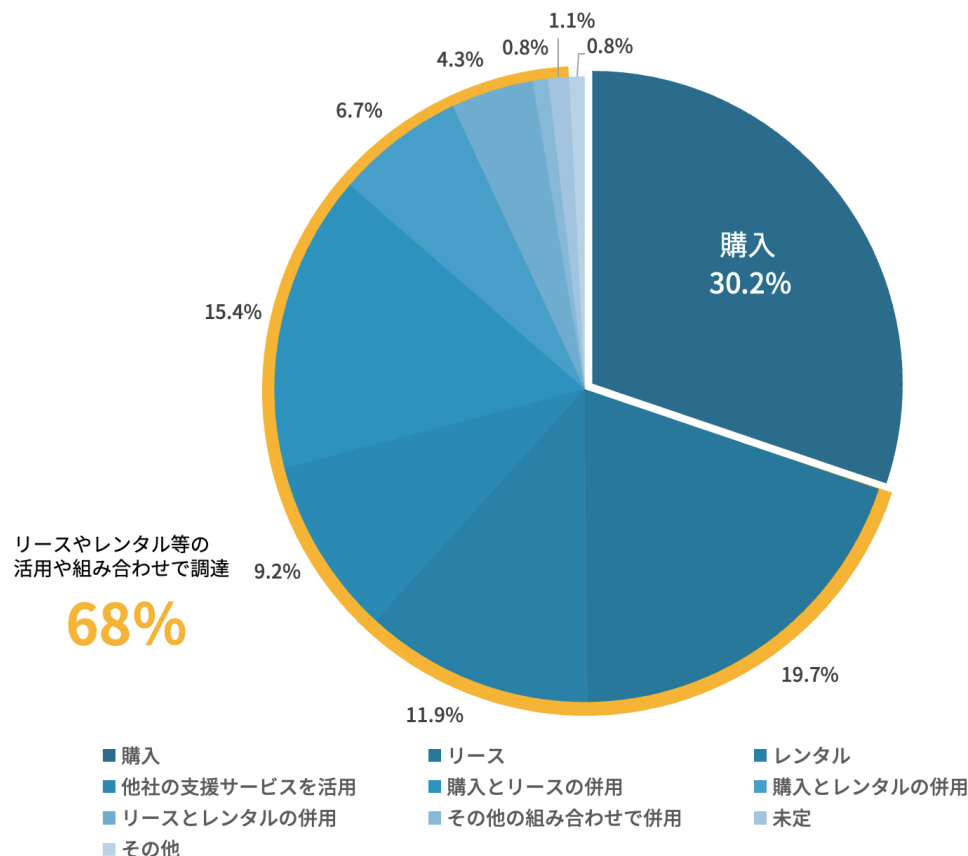
②外部に任せられるなら任せたいと思う作業はありますか？（複数選択可）（いずれもn=545）



⑥ 調達手段は“購入のみ”から“柔軟な組み合わせ”へ

「購入」のみで対応する企業は30.2%。レンタルやリースを含めた柔軟な調達を行う企業が68%にのぼりました。（n=371 ※Windows11対応の新規PCの調達を行ったもしくは予定のある方）

Q どのようにしてWindows11対応デバイスを調達しましたか。（調達予定ですか？）（n=371）



<調査概要>

調査主体: 株式会社SSマーケット

調査対象: 従業員業務用パソコンの管理・調達担当者

有効回答数: 545名

調査期間: 2025年5月13日～14日

調査手法: インターネットリサーチ

※回答の構成比は小数第1位もしくは第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。そのため、グラフ上に表示される構成比での計算結果は、実際の計算結果とずれが生じる場合があります。

総括 | 多忙な情報システム部門、人的負担をどう乗り越えるか

Windows11移行を目前に控えた今、情報システム部門では「機器の調達」だけでなく、「初期設定」「データ移行」「保守体制」など、日常的な業務も含めた広範な負担が顕在化しています。特に初期設定(キッティング)に関しては、日常業務の中でも最も負担感が強く、44.6%が「外部に任せたい」と回答するなど、人的リソースの限界も浮き彫りになりました。

こうした状況を乗り越えるには、アウトソーシングを部分的に取り入れ、社内の負担を分散することが有効な手段のひとつです。同時に、調達方法についても「購入一択」ではなく、レンタルやリースなど柔軟な選択肢を組み合わせることで、導入スピードや運用の柔軟性を確保しつつ、コスト面の課題にも対応できる可能性が広がります。

長期レンタル型のリユースPCサービス「Re:new PC」はこのような課題とニーズを背景に提供開始されたサービスです。キitting済みの状態で即納が可能なサービスを活用すれば、設定や初期対応にかかる負荷を軽減しつつ、月額制による柔軟な運用や保守体制も確保できます。

今後ますます求められるであろう「効率的で持続可能な運用体制」の実現に向け、こうした選択肢をいかに戦略的に取り入れるかが、移行対応の成否を左右しそうです。

「Re:new PC長期レンタルサービス」について

Windows 11への移行に向け、SSマーケットが提供する「Re:new PC長期レンタルサービス」は、独自の厳しい基準で整備・クリーニングした高品質なリユースPCを、法人向け業務用PCとして長期間レンタル利用できるソリューションです。

当社が13年間にわたりリユースPCの整備・提供に取り組んできた知見と技術を集約し、まだ十分に利用可能な製品を再整備し、品質基準を満たしているものを「Re:new(リニュー)」として提供。オーバースペックな最新機種ではなく、業務に最適なスペックのPCを活用することで、コストを抑えた運用が可能です。本サービスを導入することで、企業は新品PCの購入負担を軽減できるほか、セットアップや運用サポートを外部に委託できるため、IT管理の負担を削減しながら効率的で持続可能なIT環境を実現できます。ITリソースが不足しがちな企業にとっても、スムーズにWindows 11へ移行できる実用的な選択肢です。



株式会社SSマーケット

代表取締役 : 星山 常進

東京本社 : 東京都八王子市子安町4-7-1サザンスカイトワー八王子6F

設立 : 2012年3月14日

事業内容 : ・法人向けパソコンレンタル「レンタルマーケット」の運営

・LCMサービス(IT運用管理)の提供

・端末販売・リースの販売

・IT・OA機器買取事業

・Kittingサービスの提供

・データ消去サービスの提供

ウェブサイト: <https://ssmarket.co.jp>

■本件に対するお問い合わせ

株式会社SSマーケット 増田

042-641-6690

ウェブサイト: <https://ssmarket.co.jp/contact/>